

図1

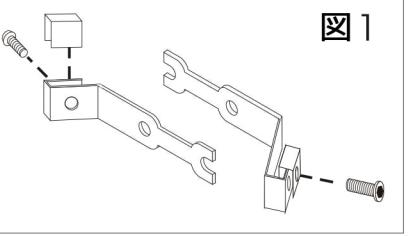


図2

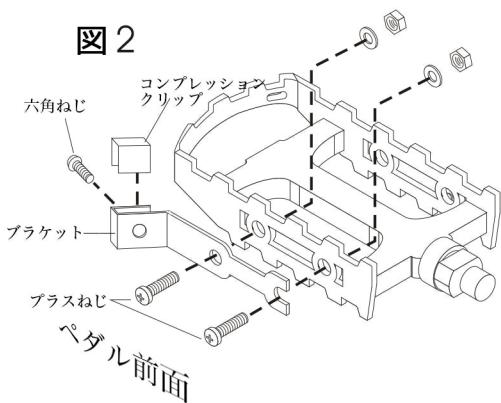


図3

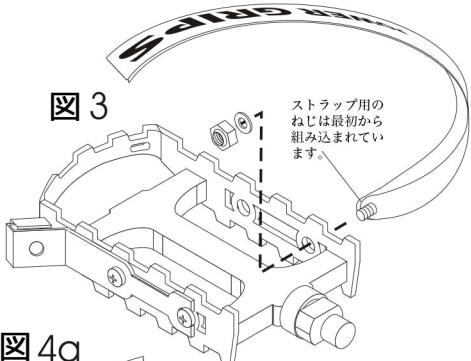


図4a

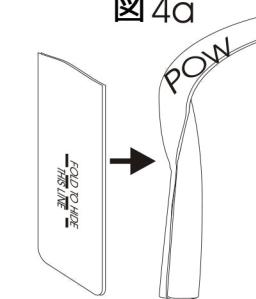


図4b

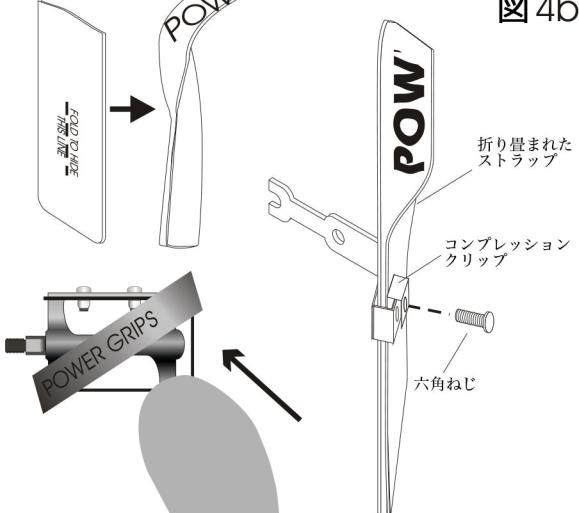
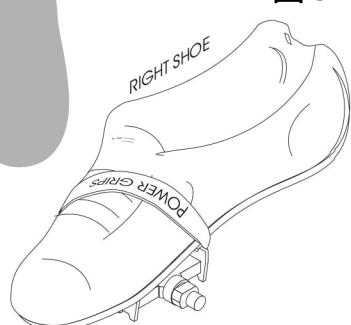


図5

図6

右足(右ペダル)参照図



パワーグリップ - スタンダードストラップセット

取り付けに必要工具：

フィリップス型ドライバー
8mmレンチ もしくはモンキーレンチ
4mmアーレンキー

警告：如何なるペダル機構も使用にあたっては必然的にある程度の危険が伴います。この説明書に目を通し参照していただくことで、安全のマージンを増やしていただくことが出来ます。

注意：パワーグリップを舗装路でお使い

いただく場合、ペダルに取り付ける反射板の代わりになるものを別途用意下さい。

ステップ1

トーキクリップ、ストラップ、リフレクターなどペダルに付いているものを全て取り除いて下さい。

ステップ2

各々のストラップをしっかりと握り、2本のパワーグリップを引き離して下さい。

ステップ3

ハードウェアのパッケージを開け、2つのブラケットを取り除いて下さい（図1）。図2を参考にしながら2つのねじ、ワッシャー、ロックナットを使ってそれぞれのペダルの前側（自転車に乗った状態の前側）にブラケットを取り付けて下さい。メモ：ブラケットは六角ねじとクリップを取り付ける側が外側になるよう取り付けて下さい。

ステップ4

自転車に誓い側のリフレクター取り付け穴を利用して、ストラップをペダルの後ろ側（乗った状態の後ろ側）に取り付けて下さい（図3）。幾つかのペダルは取り付け穴の代わりに大きな肉抜きが行われているものがあります。そのような場合は間に大きなワッシャー（別途お買い求めください）を使ってください。パワーグリップの正しい取り付けは、自転車のフレームに対し図3のような角度になるようにしてください。メモ：ストラップの右用と左用を確認して下さい。自転車にまたがった際、ストラップ上のパワーグリップのロゴが読めるはずです。

ステップ5

ブラケット両端部にある六角ねじを緩めます。ストラップの端を図4aでは見えませんが、”このラインが隠れるよう折って下さい”的記載に従って折り畳んで下さい。折り畠んだ部分を図4bに従ってブラケットに差し込んで下さい。六角ねじはシューズサイズに合わせた調整が終わるまで緩めたままにしておいてください。

ステップ6

パワーグリップが正しく取り付けられていることを確認してください。左右のストラップは進行方向に対して逆八の字になっているはずです（図5、6を参照）。警告：パワーストラップ機構を安全に使う上で、ブラケットとストラップの正しい取り付けが最も重要な部分です。

ステップ7

シューズに合うようストラップの長さを調節してください。ストラップはかかとをひねって簡単に足が抜けられる程度の余裕があり、ペダルに真っすぐ足を置いた際しっかりと保持される長さに調整して下さい。

警告：パワーグリップを快適に扱えるようになり調整が必要なくなるまで穩やかなで場所で試乗してください。

乗車時のコツ：

パワーグリップに足を入れる際は、拇指球がペダルのシャフト上にくるまで足先を内側に向けながら入れて下さい。そして足がペダル上で真っすぐになる程度にかかとを内側にひねって下さい（図5）。ストラップは足にぴったりと合い、締め付けすぎはいけません。ストラップがきつすぎたり緩い場合はステップ7に戻り調整を行って下さい。パワーグリップは適切な調整を行って初めて機能が発揮されます。最も快適な設定を見つけるまで何度もストラップの調整を行うことになるかもしれません。競技思考のサイクリストはそうでない方よりストラップを若干タイトにする傾向にあります。

重要事項：最初の乗車後、ナットとねじの締め具合を確認してください。この作業を定期的に行なうことで、機能が損なわれ製品寿命が短くなる要因となるストラップの回転を防ぎます。